



- 2022 各地の動き
- 2022 国の動き
- 2023 展望、決意表明！

2

- 2022 各地の動き
- 2022 国の動き
- 2023 展望、**数字で振り返る！**

3

- 2022 各地の動き

73 !

4

ウォーカブル区域を設定した自治体数

- 2022 73 都市
- 2021 53 都市
- 2020 31 都市

目標は
2025で100都市！

5

- 2022 各地の動き

72 !

6

ウォーカブル事業を実施している地区

● 2022 58 + 14 地区 (3.5億)

● 2021 44 + 12 地区 (2.0億)

● 2020 32 + 5 地区 (1.5億)

● 熊本県 熊本市

- 民間の再開発事業と一緒にした利活用の自由度が高い広場や公園を整備し、明るく快適な空間を整備するとともに歩行環境の整備等によりまちのシンボルである熊本城や周辺の商店街との遊遊性を向上させ、コセットである「熊本城と庭つき『まちの大広間』」を具現化しつつ、「夜も誰も歩いて楽しめる魅力的な都市空間を目指す。
- 観光客や市民の回遊・交流の場の中心となる熊本城前地区を対象にビジョンを策定し、魅力的な公共空間及び賑わい創出を図る。



7

● 広島県 福山市

- 福山駅前デザイン会議や福山駅前アクション会議などの議論を踏まえた福山駅周辺デザイン計画を官民が連携して着実に進めていくことで、備後圏域の玄関口にふさわしい駅前を実現めざす。
- 中心市街地の活性化と行政が連携し、福山駅周辺と福山城、中央公園などを一体的に結ぶ空間整備を行い、訪れる人が歩いて楽しめることが出来る歩行空間を形成するとともに、中心市街地の低末利用不動産や公共空間を利用し工アワビ価値の街を図る。

未来ビジョン「福山駅周辺デザイン計画」(令和2年3月策定)

「働く・住む・あわい」が一木な福山駅前をめざし、官民連携による公共空間の活用を検討し、人を中心とした生活を実現するため福山駅周辺デザイン計画を策定

対象エリア・官民連携プロジェクト



ウォーカブル空間の形成

- 駅前の歩道を多様多様なイベントに利用できる「福山駅と庭つき『まちの大広間』」を具現化
- 熊本城との空間的・視覚的な連続性や一体性を感じられる空間を形成

● 兵庫県 神戸市

- 三宮駅周辺からウォーターフロント、旧居留地等への遊遊性向上のため、都心とウォーターフロントをつなぐ道路における歩行者空間の整備や、沿道の公園を再整備を実施。
- 駅前の空間を人と公共交通優先の空間に転換するとともに、道路によって分断されている「えき」と周辺の「まち」をつなぐため、段階的な道路空間の再配分を計画。



三宮クロススクエア駅周辺整備

- 段階的に車道を歩道に転換することで道路によって分断されている「えき」と周辺の「まち」をつなぐ



10

● 2022 各地の動き

336!

ウォーカブル推進都市の数

- 2022 336 都市
- 2021 321 都市
- 2020 288 都市
- 2019 207 都市

336

2022.11当時



207

2019.12当時

11

12

● 2022 各地の動き

47!

13

マチミチ通信の配信数

● 2022 vol.72 ~ vol.118 47通

● 2021 vol.40 ~ vol.71 32通

● 2020 vol.17 ~ vol.40 13通

14

マチミチ会議(全国街路空間再構築・利活用推進会議)

問題意識

- 街道のまちづかいで大切なのは、皆西の「ブロック空間をオーケアリな人を中心空間に転換すること」より、「居心地の良い歩きやすい空間」を実現する「くびき空間」。
- 特に、街路空間は我々の最も身近な「ブロック空間」であり、より多様な使われ方、出会いや交流が生まれるような再構築・利活用を進めていくことが重要。

マチミチ会議の創設

- ① 全国的小路・まちづかの担当者等が一堂に会し、新たな街路空間のあり方を議論する場として、全国会議「マチミチ会議(全国街路空間再構築・利活用推進会議)」は立ち上げられた。
- ② 「マチ子地域勉強会」を各地で開催し、自治体間での先進的な取組の共有、意見交換を開催。

● 加盟規模：地方公共団体（約3,400団体・14,000名）を含め、約5,700団体・18,000名

開催実績及び予定



15

hqt-machi-michi@mlit.go.jp

まずはご連絡を！／



16

● いっぱい現地行きました。

※2021も含みます・・・

17

兵庫県姫路市 姫路駅北駅前広場





愛知県名古屋市（久屋大通）



愛知県安城市



広島県竹原市
くろしお祭り
2020



岡山県岡山市（ハレまち通り）

● 全国各地で取り組みが活発化！！

2022 全国の動きでおもったこと。

- まちへの愛着、ヒトへの思い
- 自分事としてとらえ、小さなことからまずやってみる
- 共通のビジョン
- 次の課題は「日常」

● 2022 各地の動き

● 2022 国の動き

● 2023 展望、決意表明！

25

● 4月 ポータルサイトオープン (中小都市事例集)

● 6月 ミズベリングフォーラム 11月 ほこみちフォーラム

26

WALKABLE PORTAL(ウォーカブルポータルサイト)

○ 多様な人々が集い、交流する「居心地が良く歩きたくなる」ウォーカブルなまちづくりに向けた取組が、全国各地で進められているところ、取組のより一層の推進のため、取組を実施している、また、実施しようとしている、全国の担当者の参考となるようなウォーカブルポータルサイトをオープン。

○ トップページにおいて、まちづくりに変遷していくイメージをイラストで表現。また、制度や事例集、ガイドライン等のとりまとめに加え、自治体担当者の声を紹介するページを作成。

WALKABLE PORTAL
<https://www.mlit.go.jp/toshi/walkable/>

QRコード
WALKABLE PORTAL
ウォーカブルポータルサイト

● トップページはこちる！ (<https://www.mlit.go.jp/toshi/walkable/>)

● コンテンツ
担当者の声 … 全国各地の担当者の声をお届け
事例 … 53の事例をご紹介 (検索機能付き)
制度等 … 各種制度・ガイドラインのとりまとめ … など、是非ご覧ください！

STEP1
STEP2
STEP3
STEP4

めざせ！ ウォーカブルなまちづくり
We Do!

あるきくなるまちへ
まちづくりの変遷

まちの変遷イメージ > 27



WALKABLE PORTAL(ウォーカブルポータルサイト)

● 全国の担当者の声
全国各地で取組を進めている担当者、第一弾として8名にインタビュー。苦労したことや取組に対するやがての取り組みをりまとめ、全国の担当者への啓発にならぶとしている掲載。

担当者の声 採録者
① 竹添市 伊藤さん ⑤ 防府市 小川さん
② UDC滋賀 金根さん ⑥ 安城市 前田さん
③ 滋賀県 木山さん ⑦ 刈谷市 五十嵐さん
④ うきは市 石井さん ⑧ 米子市 太田さん

● ウォーカブルなまちづくりの事例
全国各地で進めている取組を53事例紹介。参考となる取組を探しやすいうように、都道府県や取組の特徴から事例を探す検索機能もあり。

事例紹介
おまかせ検索
検索結果
事例集
まちづくりの変遷

● 制度等
「居心地が良く歩きたくなる」ウォーカブルなまちづくりに関する国土交通省の支援制度 (法律・税制・予算等) をまとめ。ストリートデザインガイドラインや事例集等も掲載。

● ウォーカブル推進部署
「居心地が良く歩きたくなるまちづくり」に賛同いただいた時報公共団体を紹介。※随時募集中

● マチミチ会議
全国の街路・まちづくり担当者が一堂に会し、新たな街路空間のあり方を議論する場として、立ち上げたマチミチ会議 (全国街路空間構築・利活用推進会議) JCTについて、過去の実施内容を紹介。

● お問い合わせ
ウォーカブルに関連する問合せを一括して受付。

28

R3 街路空間等の再構築・利活用のプロセス事例集～中小都市版～

- ▶ 全国各地で街路空間等の再構築・利活用が進む中、先進的な事例として大都市だけでなく、中小都市も含め、まさに取り組みを始めているといふような事例についても紹介してほしいとの声が多数。
- ▶ 今令3年度は、積極的に取組を進めている、中小都市の多様な8事例を、実現に至るまでのプロセス(取組のきっかけや直面した課題等)や成功の要因等について事例集としてとりまとめ、ウォーカブルポータルサイトで公開予定。

街路空間等の再構築・利活用のプロセス事例集～中小都市版～

事例集の作成対象自治体／対象街路等
① 奈良県橿原市 / 市道一高西線
② 大分県日田市 / 日田八郎原北端
③ 宮崎県都城市 / 五ヶ谷寺参道
④ 熊本県球磨村 / 国道8号
⑤ 広島県竹原市 / あいのわ通り
⑥ 山口県防府市 / 白山通
⑦ 鹿児島県米子市 / ほしうじ通り
⑧ 新潟県見附市 / 新前川通地区



<ヒアリング結果>

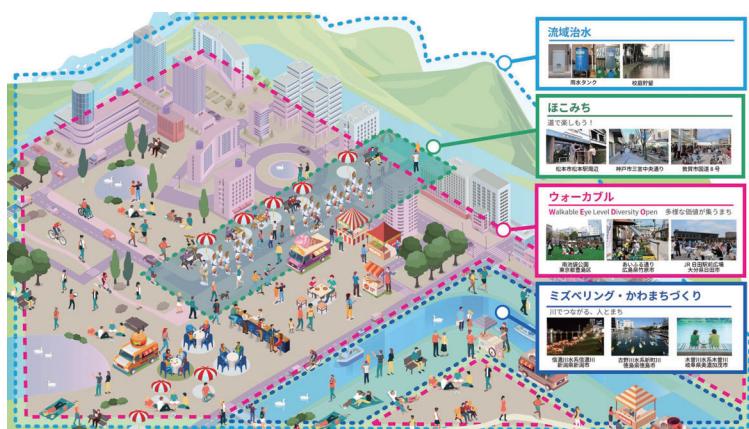
● 取組のきっかけ：
自治体側が問題意識をもって 地元へアプローチし、官民の協力体制を築き取組を推進

● 直面した課題と解決策：
- 地元調整 → 密な意見交換、小さなことから実践
- 域内調整 → 職員の意識改革、横断的組織の設置

● 取組が加速化した局面：
行政トップの判断、地元との協力体制構築、職員の意識改革、実験的な取組実施、外的要因 (新幹線の開通)

(参考)「居心地が良く歩きたくなる街路づくりを進める自治体へのヒアリング結果
① 施設の整備が進んでいない場合、どちらかウォーカブルな歩道整備が有効。
② 施設を実施する既存施設は既存施設の位置や寸法・計画等などによって限られ
③ 施設を実施する既存施設の移設等が必要。
④ 施設を実施する既存施設の移設等が必要。
⑤ 駐車場や商店街の対応に加え、モビリティへの対応や公共交通機関が課題。

29





マチミチ全国会議
年明け情報解禁予定！

＼お楽しみに！／

32

● 各局とも連携しながら 公共空間の活用の普及啓発を！

33

● さらに！ 今後のウォーカブルについても検討

34

2. 多様なライフスタイルを支える持続可能な多極連携型まちづくり

ポストコロナの多様な暮らし方・働き方を支える人間中心のコンパクトなまちづくりの実現に向けて、都心拠点（中心市街地）の充実だけではなく、日常生活を豊かにする近接なエリア（ネイバーフッド）にも必要な機能が確保された地域生活拠点を形成するとともに、都心拠点と地域生活拠点を結ぶ都市の骨格となる公共交通（ネットワーク）の確保を図る。これらを郊外住宅地や周辺集落を含む都市圏全体で取り組むことにより、人々のWell-beingを高めつつ、持続可能な多極連携型の都市構造の実現を目指す。

施策の概要

■ 日常生活を支える地域生活拠点の形成

- ✓ 日常生活に必要な機能の整備や公共交通施設の整備、公園緑地の充実
- ✓ 緊急時の避難場所としての役割を担うオーブンベース、ワーカブル空間の創出、コニティ拠点や就業拠点等の充実



地域生活拠点のイメージ



持続可能な都市構造の実現／人々のWell-beingの向上

R5概算要求白パン

＜主な取組＞

■ 日常生活を支える地域生活拠点の形成

【ネイバーフッドに必要な都市機能の更なる充実】

- 病院・学校・公共交通施設・交通結節点

既存施設の改修・新設による機能強化

駅周辺・テラス・駅前広場など、ダイ

バーフの充実に資する施設の整備

【都市機能再編集中央支障事業等】

既存施設の改修・新設による機能強化

駅周辺・テラス・駅前広場など、ダイ

バーフの充実に資する施設の整備

【都市機能再編集中央支障事業等】

既存施設の改修・新設による機能強化

駅周辺・テラス・駅前広場など、ダイ

バーフの充実に資する施設の整備

【都市機能再編集中央支障事業等】

既存施設の改修・新設による機能強化

駅周辺・テラス・駅前広場など、ダイ

バーフの充実に資する施設の整備

【都市機能再編集中央支障事業等】

■ 都市の骨格となる公共交通の確保

【まちづくりと公共交通との連携による持続可能な交通網の形成】

- 立地適正化計画箇域に位置づけられた都市の骨格となる公共交通について、必要な交通サービスの確保のため、交通インフラ整備の支援を強化

【都市機能再編集中央支障事業等】

まちづくりと公共交通との連携による持続可能な交通網の形成

立地適正化計画箇域に位置づけられた都市の骨格となる公共交通について、必要な交通サービスの確保のため、交通インフラ整備の支援を強化

【都市機能再編集中央支障事業等】

R5概算要求白パン

35

2. 2) 公共交通軸と連携した地区内交通と魅力的な空間形成 人間中心の都市空間への再編

○ 近年、都市中心部やその中心駅周辺において、様々な都市空間を人間中心の空間へと再編する動きが活発化
→こうした空間再編を公共交通軸沿線において戦略的に展開することで、公共交通の利用環境向上
や、都市全体としてのコンパクトで居心地のよいまちづくりに繋げていく視点が重要ではないか

①これまでの「まちなか」だけでなく より日常的な「ネイバーフッド」も

37



都市計画基本問題小委員会 38

2. 2) 公共交通軸と連携した地区内交通と魅力的な空間形成 居心地が良く歩きたくなる魅力的なまちづくり【「居心地が良く歩きたくなるまちなかの創出による魅力的なまちづくり」】

○ まちなかにおける居心地が良く歩きたくなる魅力的なまちづくりに向けては、都市再生整備計画に基づき、歩行者
が在空間の創出などを通じて公共交通と拠点双方の視認性に立った取組を推進
⇒ このような地区レベルにおける歩行者優先のまちづくりについては、公共交通軸と有機的に連携し推進することが双方の効果的実施の上で有効ではないか

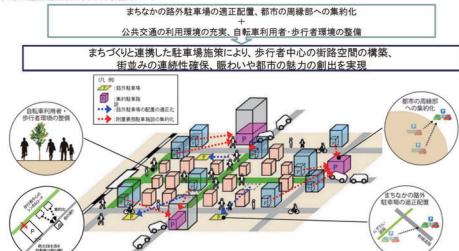


都市計画基本問題小委員会 39

2. 2) 公共交通軸と連携した地区内交通と魅力的な空間形成 拠点内における駐車場施設

○ まちなかにおける駐車場の配置にあたっては、路外駐車場の適正配置、都市の周縁部への集約化のみならず、公共交通の利用環境の充実、自転車利用者・歩行者環境の整備をして図ることが重要な課題
○ 今後は土地の充足から立地的にといった観点で、駐車場を取り巻く将来動向も踏まえ検討していくことが必要
⇒ 公共交通軸と一緒にしたコンパクトなバリアフリーアクセスネットワークの取組と連動して検討を進めていくことが、公共交通軸と拠点が一氣になった集約型都市構造の実現の上での必要

■駐車場の配置適正化に向けての取組イメージ



都市計画基本問題小委員会 40

2. 2) 公共交通軸と連携した地区内交通と魅力的な空間形成 拠点内の回遊性・滞在性の向上を図る地区内交通について

○ 地区内交通の検討により、都市機能の構成拠点において、鉄道駅と次交通及びまちを一体的に捉え、歩行者を中心とした都市空間整備に向けて駐車場、駐輪場の適正配置や駅前空間の充実等を推進
⇒ 都市中心部における拠点に加えて、公共交通軸上の住まい近傍のエリアにおいても拠点内の回遊性や滞在性を図り、公共交通軸と有機的に連携して地区内交通の検討を行うことが、公共交通軸の確立においても有効ではないか

■住まい近傍における地区内交通と連携した地区内空間のイメージ



都市計画基本問題小委員会 41

論点の整理②

2. 2) 公共交通軸と連携した地区内交通と魅力的な空間形成

- 社会的課題
 - ・コロナ以降、交通事業者の経営状況がさらに悪化し、都市の公共交通軸の機能が低下（再掲）
 - ・コロナ以降、自宅周辺の行動が増加する傾向が見られ、住まい近傍での生活機能充足のニーズが増大
- 課題に対する取組状況
 - ・拠点における地区レベルにおける地区内交通や魅力的な空間形成等の推進にあたっては、特に都市中心部において人間中心の空間形成が進んでいるところ。
 - ・中には、公共交通軸上に多層的な区域設定を行い、住まい近傍の拠点の魅力向上につながる取組を推進している都市も存在

- 具体的に検討が必要な事項
 - ・公共交通軸上の拠点周辺において軸と一緒にした拠点整備等を通じ、エアーワークの価値を高め、公共交通利用の需要創出を図ることが公共交通軸確保のためにも重要
 - ・地区内交通及び駐車場施設に係る検討も同様に、公共交通軸と一緒にして検討することが重要
 - ⇒ 都市中心部のまちなか近傍の拠点においても、魅力的な空間形成を図るための取組(地区内交通の検討や人間中心のまちづくりなどを通じて拠点内の回遊性や滞在性を向上させ、公共交通軸と連携して検討していくべきではないか。それにならっては立地適正化計画に基づくコンパクト・プラス・ネットワークの取組と連携してどのように実施すべきかを検討すべきではないか)

都市計画基本問題小委員会 42

(4) まちづくりにおける駐車場の柔軟な活用のあり方にについて 国土交通省

都市内における駐車場は「駐車」機能のみならず
まちなかの「場」としても多様な活用が期待される

まちづくりにおいて「駐車場」が
「場」としても貢献しうる場面や活用方法は?
※公衆の利便に資するとともに、都市の機能の維持及び増進に寄与

- ・既存駐車マスの改変によるパリアフリー対応、他のモビリティの受け入れ
- ・共同荷捌きや積替等が可能な荷捌き施設の整備
- ・キッチンカーやモバイルハウスなど多機能のクルマの受入環境整備
- ・備蓄倉庫、避難場所、電源基地(EV)等、駐車場の他用途への転換(一時的、恒常的)
- ・暫定的なイベントの開催等、一時的な賑わい空間の創出
- ・建設工事ヤード、建替時の一時移転先としての活用
- ・民地や公共用地等の暫定的な駐車場への転換

まちづくりにおける駐車場施策のあり方検討会 43

15

② ウォーカブル空間を形成するには 公共交通を考えることが重要

44

姫路市における取組



豊島区における取組



46

● 2022 各地の動き

● 2022 国の動き

● 2023 展望、決意表明！

2023 展望、決意表明

- 各局との連携強めます！
(私たちもやってみたい。)
- ウォーカブルの更なる促進！
- 引き続き、全国へ足を運びます！

